

# サクセムを用いたプレストレストコンクリート床版 羽田空港D滑走路棧橋部床版

“SUQCEM” PC Slab in Tokyo International Airport D-Runway

## 2万m<sup>2</sup>のサクセム床版を製作・架設しました

### 概要 (Introduction)

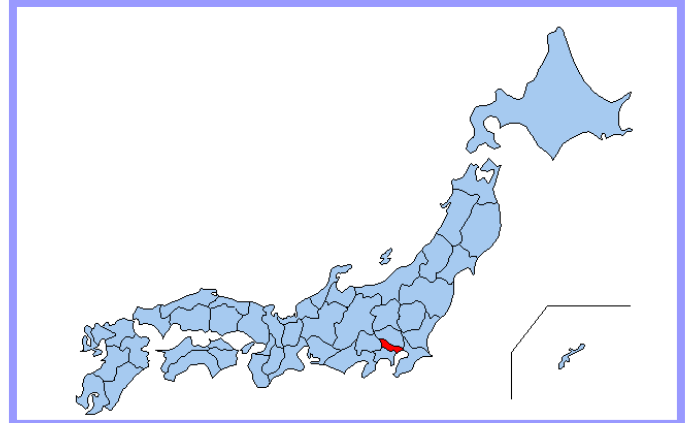
羽田空港D滑走路の棧橋部は、海中に打設した鋼管杭と鋼製のジャケット、ならびにジャケットの上部桁上に配置するコンクリート床版から構成されます。このうち、外周部の着陸帯にサクセムを使用したプレキャスト PC 床版が採用されました。

工事名：東京国際空港D滑走路建設外工事

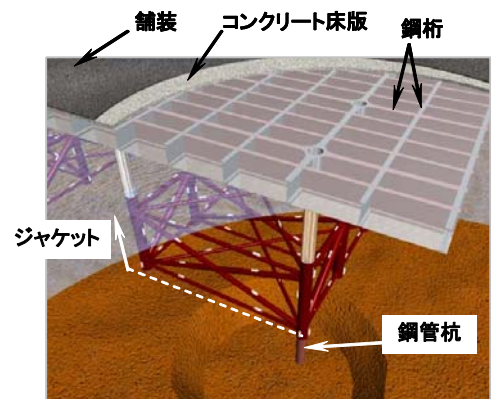
工事場所：東京都

構造形式：2方向プレテンション方式 PC 床版

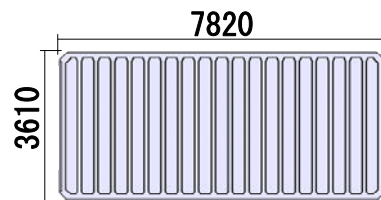
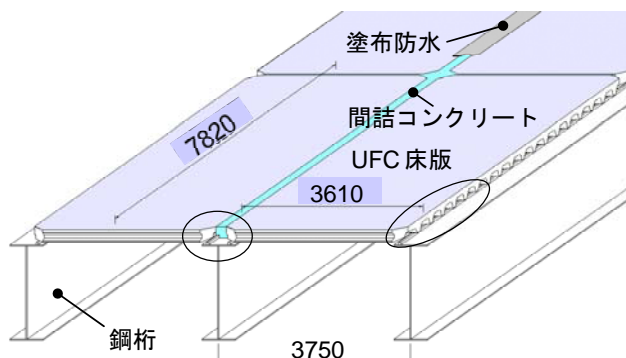
標準寸法：7.820m×3.530m



サクセム床版



棧橋部の構造



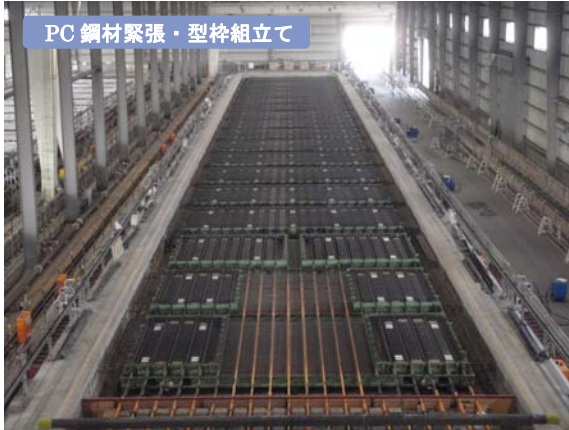
床版の構造

### 特長 (Features)

サクセムは一般のコンクリートと比較して力学的性能が高いため床版を薄く、軽くすることが可能です。普通コンクリート製の PC 床版に比べ重量が約半分となり、棧橋ジャケットおよび鋼管杭の鋼材量が低減できます。また、緻密な組織が塩分の浸透を防ぎ、塩害に対して優れた抵抗性を有するため、維持管理費の低減も期待できます。

## サクセム床版の製作 (Fabrication of SUQCEM Slab)

当工事のために千葉県富津市に床版製作工場を建設しました。工場には、サクセム製造プラントのほか、一度に最大 20 枚の床版を製作可能な長さ約 100m、幅約 12m の製作ラインを 2 ライン、二次養生槽、仕上げ・検査ヤードおよび門型クレーンなどを整備しました。約 4 ヶ月でサクセム床版を 797 枚製作しました。



## サクセム床版の施工 (Construction of SUQCEM Slab)

サクセム床版を海上輸送し、栈橋ジャケット上の所定の位置に 1 枚 1 枚クレーンを用いて架設した後、床版間の目地にコンクリートを打設しました。

